

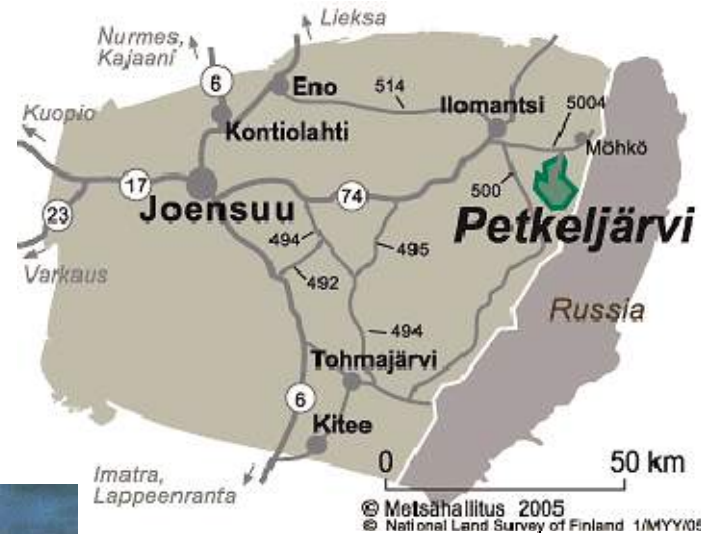
ペトケルヤルピ国立公園(イロマンツィ)
Petkeljärvi (Ilomantsi)

兵庫県立大学緑環境マネジメント研究科
淡路景観園芸学校園芸療法課程

講師 天野玉記

ペトケルヤルピ国立公園(イロマンツィ) Petkeljärvi (Ilomantsi)

1992年にユネスコによって、北カレリア生物圏保護区の一部となった



Black-throated Loon (*Gavia arctica*)
和名:オオハム



ペトケルヤルピ国立公園(イロマンツィ) Petkeljärvi (Ilomantsi)



- 広い公園内は犬を連れたガイドがいて案内してくれる
- 湖・森林・キャンプ地と多彩な自然の中で遊ぶツールがあちこちにある

ペトケルヤルピ国立公園(イロマンツィ) Petkeljärvi (Ilomantsi)



歩くとフカフカ。森の深さを感じる。遊歩道を離れてどんどん森の中を歩いてもいいそうだ



- シベリアンハスキーを連れたガイドが案内
- 緑の濃い自然の中を散策

スズラン



緑が美しい。
森の香りがする。



地衣類: 清浄な空気のあるところだけに育つエアープランツ。髭のよう



苔とベリーと一緒に生育。夏にはたくさんのブラックベリーが収穫できそうだ



山火事があった痕跡を残している。
多くの木が燃えたが、森は復活した。





森を抜けると美しい湖が出てくる。カヌーをやっていた。



ロシアとの戦いの場
潜伏して敵を待ち伏せした塹壕

ペトケルヤルピ国立公園(イロマンツィ)を 歩いた感想

とにかく自然が豊か。

森の中の木々のざわめき、鳥の声、さわやかな風に森の香りを満喫。

日本では遊歩道しか歩けないが、コースを外れて歩くのも自由。

花を摘むのも自由。

森で収穫したベリーやキノコは見つけた人の所有物にしていいという法律があるくらいで、自由に森の中で収穫してもいいらしい。

キャンプもできる。

数日キャンプで滞在して、湖で
カヌーや釣りなどをしたいと思った。

森林療法の好適地。

信州の森に入っているような
親近感があった。

